

議会だより

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>  
Eメール [gikai@vill.noda.iwate.jp](mailto:gikai@vill.noda.iwate.jp)

のた

2016  
11/25

第137号

都市公園  
グランドワーク

9月21日  
(野田小学校5・6年生)

### 平成28年9月 第5回定例会

- 9月定例会のあらまし ..... P 2～3
- 決算特別委員会 ..... P 4～5
- 一般質問 6人が登壇 ..... P 6～14
- 採決一覧・国会議員へ要望 ..... P 15
- 岩手県町村議会議員シンポジウム  
産業常任委員会視察 ..... P 16

# 台風の大きな爪痕

復旧に係る補正予算の専決処分を承認  
～第5回定例会～



甚大な被害を受けた下安家地区（8月31日撮影）

## ○主な専決処分内容○

### ○歳入

・繰入金(財政調整基金より)災害対応経費分  
..... 3,190万円

### ○歳出

・飲料水供給費 ..... 350万円  
・災害救助対応人件費 ..... 340万円  
・災害廃棄物収集運搬等経費 ..... 320万円  
・漁港施設災害復旧事業に係る経費 ..... 2,000万円

8月30日の夜から未明にかけて岩手県に上陸した台風10号は、本村にも甚大な被害をもたらしました。9月8日から16日まで開催された、9月定例会においては、復旧事業に要する経費を含む一般会計補正予算の専決処分を初日に承認、また引き続き災害復旧に係る補正予算を可決しました。

決算特別委員会は、9月13日と14日で行われ、一般会計および8つの特別会計を慎重調査し、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。（4ページ～5ページ）

一般質問は6名が登壇し、村政に鋭く切り込みました。（6ページ～14ページ）

## Q&A

**米田徳一郎議員** 漁港施設災害復旧費 20,000,000円について、港の被害状況と専決処分して早速に対応しなければならなかった理由は？

**地域整備課長** 堆積物処理ということでの計上である。港内に堆積した土砂、流木が720㎡、トン数では430トンとなっている。漁業者のために支障物を早急に撤去する必要があったため行った。

※専決処分とは、本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。



流木が堆積した下安家漁港の様子

9月定例会では、さらに災害による公共土木施設等の復旧事業、都市公園事業などに要する経費の補正予算についても可決しました。今回の補正額は約8億円となり、補正後の予算額は約78億円となりました。

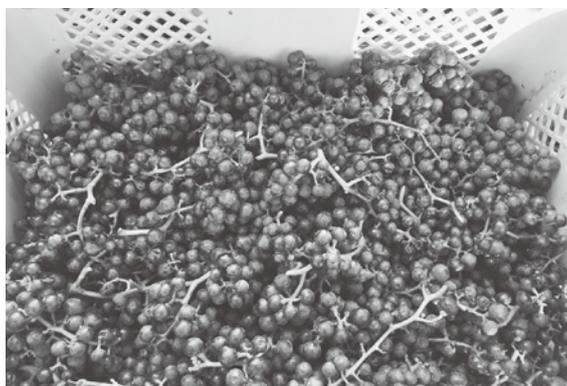
## ○補正予算の主な内容○

### 歳入

- ・ 震災復興特別交付金…………… 3,934万円
- ・ 情報通信基盤災害復旧費補助金…………… 66万円
- ・ 地域経営推進費補助金…………… 266万円
- ・ 財政調整基金繰入金…………… 5億7,960万円
- ・ 三陸沿岸道路工事損失補償費…………… 4,664万円



被害を受けた下安家ふ化場



ワイン生産で使用する野田村産山ぶどう

### 歳出

- ・ 簡易水道事業特別会計繰出金…………… 1,250万円
- ・ 漁業集落排水事業特別会計繰出金…………… 7,908万円
- ・ 仮設店舗移設解体事業…………… 6,116万円
- ・ 株式会社のだむら出資金…………… 500万円
- ・ 村道除排雪経費…………… 2,061万円
- ・ 村道維持管理経費…………… 1,500万円
- ・ 土地区画整理事業…………… 4,750万円
- ・ 橋りょう災害復旧事業…………… 1億4,300万円
- ・ 農業用施設災害復旧事業…………… 2,000万円
- ・ 林道災害復旧事業…………… 4,000万円

## 私学助成の充実を求める意見書

私立学校は、公教育の一翼を担い学校教育の充実、発展に寄与しています。現在、私学学校の経営基盤は、厳しい環境におかれており、保護者の学費負担は家計を大きく圧迫しています。また、生徒一人当りにかけられる教育費が公立学校と比べて低いことが、教育諸条件が改善されない大きな要因になっています。こうした状況の中で、教育条件の維持、向上と保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全化に資するため、運営費をはじめとする公費助成の一層の充実が求められています。よって、このような実情を勘案し、私学助成についての特段の配慮をされるよう次のとおり要望いたします。

過疎地域の私立学校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実させることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成28年9月16日

岩手県野田村議会議長

内閣総理大臣 殿  
 財務大臣 殿  
 文部科学大臣 殿  
 衆議院議長 殿  
 参議院議長 殿  
 岩手県知事 殿

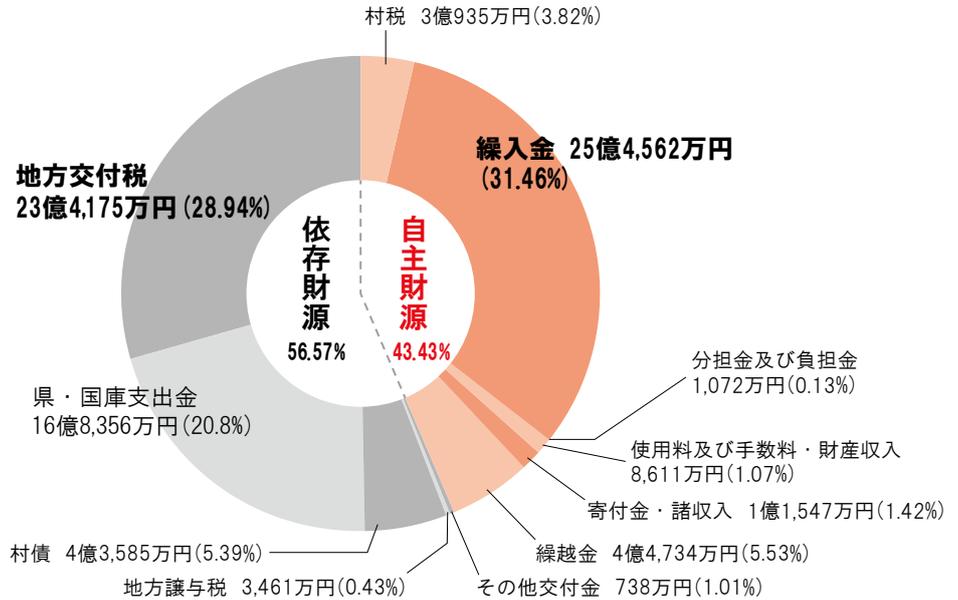
総務教民常任委員会（山田陽子委員長）は陳情1件を採択し、発議案として議会に提出、可決され国及び県へ意見書を提出しました。

**私学教育を充実発展させるべき**  
 陳情を採択

# —決算の状況—

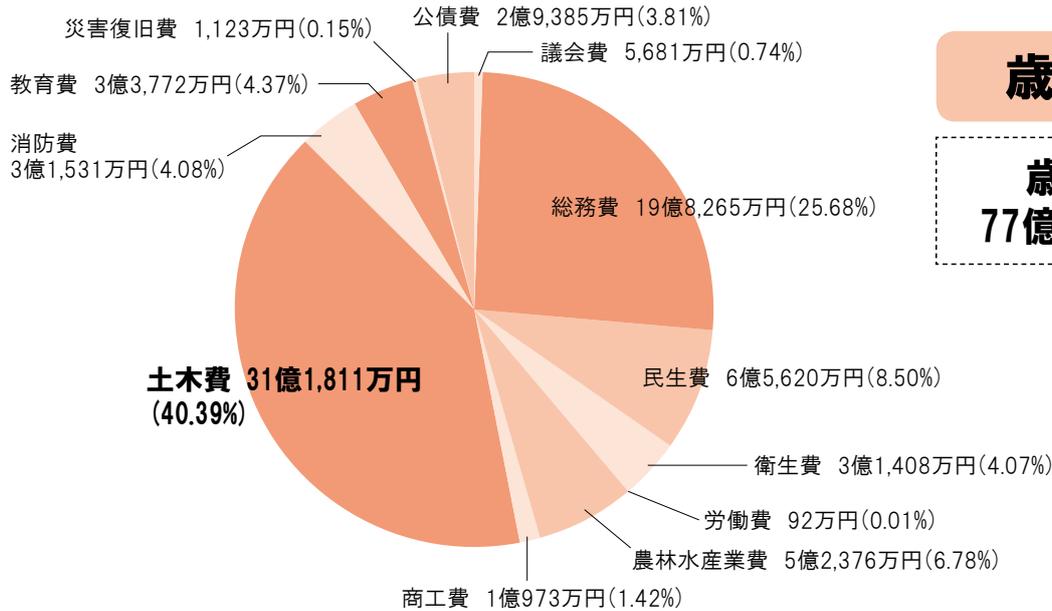
## 歳入内訳

歳入総額  
80億9,220万円



## 歳出内訳

歳出総額  
77億2,037万円



### ◎ 27年度における主な政策成果◎

・城内地区防災拠点施設整備事業(4,415万円)

津波で流失した保健センターと併せ、防災拠点や避難施設等の機能を追加した施設を整備するための業務委託等を行いました。

・総合運動公園野球場改修事業(6,039万円)

いわて国体開催に向け、芝の張り替えやバックスクリーンやスコアボードの塗装など改修を行いました。



・城内地区津波復興土地区画整理事業(6億4,902万円)

城内地区津波復興土地区画整理事業に係る各種業務委託、物件移転補償、整地、道路及び下水道等の工事を実施しました。

・災害公営住宅整備事業(12億9,855万円)

災害公営住宅整備に係る各種業務委託及び建設工事を実施しました。(城内高台団地 54棟分)

・消防施設等整備事業(1億5,544万円)

野田分署の浸水区域外への移転建替えのほか、消防団員の被服及び物品の購入、第7分団車両の整備を行いました。

# 決算特別委員会

決算審査は、議長を除く11名で構成された決算特別委員会（古館幹男委員長）において審議されました。ここでは、審査の中から、いくつかの質疑を要約してお伝えします。

## 工業高校を 守り育てる会

**米田徳一郎委員** 工業高校を守り育てる会に関連して入学者を増やす検討はされたのか。

**総務課長** 工業高校の生徒が野田駅から定期券を購入した際の20%を補助する形になっている。



## 新規就農者支援

**米田徳一郎委員** 新規就農者が一定の収益が上がって、専業に移行できるまでの副業の部分についても検討しているか。

**産業振興課長** 3年村から奨励金が出るような形だが、一定の収益が出るまで農業のサポーターという形で検討して行きたい。

## 出稼ぎ者組合

**米田徳一郎委員** 出稼者組合について、維持に疑問があるようだ。見直し、解散などは検討されているか。

**住民福祉課長** 出稼者の数そのものも少なくなってきたため、あり方については検討して行かなければならないと考えている。

## 生活支援ハウス

**宇部委員** 生活支援ハウスの現状と見直しについてはどのようなか。

**住民福祉課長** 定員は10名だが、現員は4名である。入所に関する情報は提供しているし、今後に必要な施設である。

## アジア民族 造形館

**米田忠一議員** アジア民族造形館に関して、維持管理の部分も含めこのままの状態でも当面続ける考えか。

**教育次長** 老朽化で管理が非常に難しくなっている。日形井地区全体を一つのエリアとして見て、体験学習も考えながら、人を呼びこむ工夫をしていく。



## ふるさと納税

**米田徳一郎委員** 高額な返礼品であったり、(各自自治体との)競争が激しくなっているようだが産業振興の面での効果をどのように捉えているか。

**特定課題対策課長** 今後は返礼品のバリエーションを広げ、特典を設けることを検討している。

## 地域チャレンジ 応援補助金

**山田委員** 地域チャレンジ応援補助金の交付内容について。

**産業振興課長** 株式会社のだむらのワイナリー事業とレストラン開業に交付している。法人については300万円、個人・任意団体については50万円を上限としている。

## 運動公園改修

**米田忠一委員** 総合運動公園改修事業費約6000万円は一般財源か。

**教育次長** 起債分が4430万円、スポーツ振興くじ助成金が1600万円である。

## 賛成 討論

## 米田忠一議員

平成27年度一般会計決算の認定について、賛成の立場で討論させていただきます。あの震災から5年半が経過して、未曾有の大災害の記憶が少しずつ薄れていくなか、城内高台団地の災害公営住宅の完成を始め、復旧復興関連事業の進捗、またソフト面でも被災者に寄り添った事業展開が見受けられます。応援職員の確保がままならないなか、このように巨額な予算の執行が適切に行われたところであります。

以上の理由から、本会計、歳入歳出決算の認定の賛成討論といたします。



八幡 文耕 議員

# 4期目を目指し、出馬を考えているか

## 村長 支援者と相談しながら 最終的な判断をしたい

**八幡議員** 引き続き村政運営に意欲を燃やし、4期目を目指し、出馬を考えているか。

**村長** 震災からの復旧復興も道半ばであり、台風10号による甚大な被害もあった。このような中で今期限りという考えには至っていないが、支援していただいている方々と相談して最終的な判断をしたい。

**八幡議員** 自分の意志とは別にあくまで相談してからということか。

**村長** 相談する機会を設けていたが、台風により延期となった。復旧・復興、そして喫緊の課題である地方創生に全力を挙げて行きたいという気持ちはある。

### 都市公園 管理運営

**八幡議員** 第3堤防の草刈について、年に何回の草刈を予定しているのか。

**村長** 津波防災緑地公園として整備する中での高盛土なので、河川堤防と同程度の管理を行う。

**八幡議員** 景観を求めて、桜の木を植樹しているが樹勢が悪く可哀そうな姿である。手入れなどの仕方について考えは。芝の管理についても合わせて伺う。

**村長** 剪定、害虫対策に専門的な知識が必要となるので、樹木医など指導を頂きながら管理して行く。芝に関しても、造園業者等の指

導を頂く。

**八幡議員** 公園内の施設管理について。管理清掃などの具体的な方法は。



都市公園内に整備されたトイレや管理棟と植樹された桜の木  
管理運営についてはさらなる議論が必要です

**村長** 潮風の影響で場所により生育不良がある。管理棟および展望休憩施設は基本的には通年の利用を予定している。都市公園の具体的な管理については21世紀

むらづくり委員会で検討していただく。

**八幡議員** 第3堤防の草刈については予算的には県から補助が出るのか。

**村長** 必要な部分については当初予算で確保できると考えている。

**八幡議員** 無償というのはこの時代に難しいのでは。

**村長** 使用する方々にお手

周辺の草は誰がとるのか。

**村長** 樹木医等と相談して決めて行く。芝の管理については綺麗のまままでの管理は厳しいと考えている。使用する団体と協議しながら管理して行く。

**八幡議員** 最初の内は珍しくて手入れもしていくけども、長くなったら手を掛けないということなのか。

**村長** 雑草用の薬もあるとのことである。

**八幡議員** 施設の管理運営については近場の人にお願いとすというわけだが、無償という形でなく、ある程度予算も確保していただきたい。

**村長** 予算的なことも勘案しながら、検討して行く。

**八幡議員** あれだけの設備で冬期間だけ閉めるということはないか。

**村長** 公園及びトイレは通年の利用をして頂きたいと考えている。



山田 陽子 議員

# 台風被害に対する支援策は

## 村長 激甚災害の指定を

### 要請している

**山田議員** 大震災を教訓に作成した防災計画による減災効果と減災に及ばなかったところ、又被害に対する支援策は。

**村長** 減災効果等については、十分な検証はしていないが、ほ場整備事業等により北区等の水害は軽減したものの、明内川が氾濫し床下浸水等被害が発生した。支援策については、河川付近にある施設被害が甚大であり、激甚災害の指定を要請している。(その後に指定)

**山田議員** 今回村内全域に避難勧告が発令されたことで避難行動に戸惑い、混乱した村民も多かったようだ。そこで今後の防災計画に生かすために、今回村民

がそれぞれどのような避難行動や意識をもったかなどの、個別アンケート調査を実施し、今後の防災への備えとして意識を高めていくことを考えるべきではないか。また、コミュニティのあり方や災害弱者への対応策・防災士の取得等の取組みについてはどのようなか。

**村長** 今回の状況等も踏まえながら、今後安全な村づくりについて検討を重ね、実施についても検討して行きたい。災害弱者の対応は、名簿などを消防等団体に提供している。

**山田議員** 農林水産業の被害

## 農林水産業の被害

農林水産業の被害

害と対応策、課題について伺う。

**村長** 農・林産物被害は、出納13a、露地きゅうり23a。施設関係は、農業施設でハウス2棟が倒壊、根井和野平地区畑地かんがい施設の導水管の寸断、林道施設では、玉川線、小松線で路面の崩壊、玉川2号線で路面の崩落、城内種綿線で路面の流失など各路線で生じた。漁業関係では、下安家さけますふ化場、県北さけますふ化場が甚大な被害を受けた。定置網の魚網の破損や漁家の漁具等の被害など農林水産施設等の被害については調査継続中で、広範囲にわたっている。被害額等の全容把握には至っていない。今後早急に被害状況の把握に努め、応急復旧・

支援を実施し、本復旧に移行していく。

## 宮沢川改修工事

**山田議員** 台風10号により、これまで予期していない川からの氾濫により、大きな災害等が多発した。宮沢川の上流の工事への早急な対応と、同様な規模の河川点検等の対応は。

**村長** 上流側の整備については、県道切り替え工事により一部護岸の整備もしている。その他の部分については、河川の状態を確認しながら必要に応じて整備の

検討をしていく。また、同規模の河川の点検については、これまで同様に不定期に実施していく。

## 観光資源

**山田議員** 1点目「木彫りの水族館について」村内外で話題となり、高い評価と期待など注目度が増している。「木彫りの水族館」は、個人の財産でもありますが、個人の財産でもあると言えます。言い換えれば観光資源の一つだとも考えられます。これを村の観光に活用させてもらう考えは。



台風被害の様子(間明地区)

**村長** 村の観光資源として非常に有望であり魅力的なものとして認識している。現在所有者が法的な手続き等進めているようだ。村としてはその動向を注視しながら、可能な支援をしていく。また、区画整備事業に伴い移設した仮設店舗の空きスペースを活用し、作品展示の方向で調整中。村の貴重な観光資源として情報発信や情報提供など積極的に支援していく。

**山田議員** 観光資源としての村民の個々の財産発掘を積極的に進め、それが村の有効な財産を増やす。さらに、村民のやりがいや生きがいに繋がり、活性化の起爆剤になると思うがどう考えるか。

**村長** 色々なものについても、情報等があれば、確認しながら進めたい。村民の皆さんからも情報提供を願う。

**山田議員** 2点目「ホタテ小屋について」観光客等が、

荒海ホタテを自ら焼いて食す場所がほしいと聞く。ホタテを文字つて「ほったて小屋」という観光施設を考へては。

**村長** 会合等でも提案いただいているが、現状の生産量・体制では常設での提供は困難であり、イベントの中でモデルケース的に開設する方向で進めたい。

### 住民の足の確保

**山田議員** 来年度は村営バスの更新期のようですが、高齢者や買い物難民など必ず考慮しなければならぬ状況の中、これまで利用できていない地域や住民も含めてバスやタクシーなどの運行も含め、ここに配車サービスのシステムを導入して住民の足の確保を検討すべきと考えるが。

**村長** 村営バスについては、今年度新たな交通体系の検

討を行う予定で、デマンド交通についても検討に加え、交通手段の確保に努めていく。

**山田議員** 具体的にいつ頃どのような方法で検討会を進めていくのか。

**村長** 現在担当課で検討している。できれば新年度から新交通体系で実施したい。

### ごみの減量化

**山田議員** 本村が目指している家庭から排出されるごみの減量化及び資源化の指針を示せ。

**村長** 本村の一般廃棄物処理基本計画に、ごみの発生と排出の抑制、リサイクルの推進を掲げている。家庭ごみの減量化に向けては、生ごみ処理機の普及啓発を図るとともに、過剰包装の辞退や使い捨て商品の購入の抑制等、「ごみを買わない

意識」の定着を目指している。又、プラスチック容器包装や家庭用小型家電のリサイクル回収に加え、「雑がみ」のリサイクル回収を11月から行う予定。(後に延期)

**山田議員** 生ごみ処理機の利用者数と目標の数字化などの具体的な工夫が必要ではないか。

**村長** コンポストは27年度23台。計画上27年度の目標が817g、実績は799

gであり、当初の目標より減量化されているが、まだまだ生ごみが多く分別が不十分なので、PRしていく。

**山田議員** 減量化に伴って、ごみの回収回数をいつ検討するのか。

**村長** 回数については、津波からの復旧復興を進めながら各集落、各場所等の世帯数、人口数が落ち着いたあたりで検討も加えていく。



役場正面玄関に設置してある小型家電回収BOX



古館 幹男 議員

津波高さを表示し、後世に伝えるべきでは

村長 保健センターの壁面に

表示することも検討

**古館議員** 記念碑建立委員会が設立になり、協賛金の募集が始まるようだが、記念碑の建立とともに、到達地点、高さが分かるようにしておくことが必要だと考えるが。

**村長** 国交省の報告書があり、図面では示されている。住民懇談会でも「浸水区域等の標識は必要ではないか」との意見もあり、補助事業等の財源を勘案しながら検討する。

**古館議員** 村外の人が津波の状況を知りたいということとで案内したが、自分の地域以外は説明できなかつた。田老では高さが表示してあったし、大震災に遭遇した我々が伝えて行くべきだと思うが。

**村長** 現在建設中の保健センターの壁面に表示することも検討している。いずれにしても後世に伝えることを検討して行きたいと考えているのでご理解いただきたい。

**古館議員** 台風10号の被害状況と対応について。

### 台風10号被害

**村長** 道路・漁港・林道被害などが確認され、今後更に増えるものと考えている。概算で20億円を超える被害になると思われる。水道施設については応急対策を行っており、本格復旧は災害査定を受けるなど今後

行っていく。支援策については、激甚災害の指定を要請している。

**古館議員** 現在の気象条件を考えると、今後も短い周期でこのような災害が起これるのではないかと。被害を少しでも防ぐために、安楽川に砂防ダムを建設することを要望する考えは。また、林道被害についても毎回の台風被害で道路が掘れてしまっている状況だ。対策について伺う。

**村長** 世界的に見ても気象条件が変化し、これまでの常識が通用しなくなってきた。このような中で何ができるか考えて、国や県と協議していきたい。林道被害の対応については、場所によって遮水板を設置す

るなど対策を行っている。

**古館議員** 泉沢川にふ化場を建設するという考えは。

**村長** 県全体でのふ化放流事業での計画等もあるため、それらを見守って行きたいと考えている。

### 防災無線

**古館議員** 大震災以降に、防災無線が聞こえにくくなり困っている地域がある。村職員には対応してもらったが、他にもこのような事例はないか。また、設備の点検等はどのようにしているか。

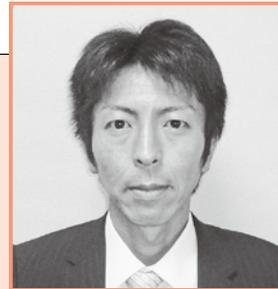
**村長** 村民からの情報提供により、音量を上げた地域がある。原因は定かではないが、交通車両の増大が挙げられる。点検については年一回だが、住民の方からの情報提供の都度、点検は行うようにしている。



台風通過翌日の下安家の様子



玉川地区の防災無線



中川 大和 議員

## 村単独での物産館設計・建設は時期尚早では

### 村長 三陸沿岸道路の玄関口は必要である

**中川議員** 沿岸4市町村広域でのインターチェンジ施設の建設もまだ具体化されていない中で、村単独での交流物産館複合施設の設計建設は時期尚早でないか。また、現在の構想規模は本村規模に相当するものか。

とのことだった。また、想定している施設を建設しても、その施設内を埋めるだけの物産等は賄えるのか。

**村長** トラックステーション的施設は広域で整備される施設に必要なのではないかと思っており、村で整備される施設はそうではない。規模に関しては、最終設計に入っていないので詳細なことは決まっていないが、村だけの物産等だけではなく、近隣の物産等も含めて、スペース等を考慮していく。

**中川議員** 前回は、三陸沿岸道路の開通によりトラックの物流が増えるので、利用してもらおうべく、まずは降りていただく施設が必要

**中川議員** 地域の産業との連携という点で、地域の1次、2次、3次の連携が必要不可欠である。村でも特産品等の生産、製造を後押しして野田村の魅力発信につなげなければならぬと思うが、継続的に利用してもらうための手法は考えているか。

**村長** 集客力のある道の駅には必ず目玉となるような店舗や商品がある。魅力ある施設にしていくためには地域資源を活用した、野田村ならではの商品開発は欠かせないと考えており、6次産業化への新規取組者の掘り起こしや関係機関等と連携した既存商品の改良や新規商品開発に向けた取組等を、積極的に支援していきたい。

## 都市公園の維持管理

**中川議員** 都市公園の維持管理について具体的に決定したことはあるか。また、ボランティアや住民に協力をお願いしていくとのことだが、どの程度を想定しているのか。

**村長** 都市公園の維持管理

については21世紀村づくり委員会地域整備部会にて議論をしていただいている。すべてがボランティアという事ではないので、できる部分や使う方々が自分の使う場所を整備するというような協働の形で進めていければと考えている。管理のための諸道具に関しては村で用意させていただく。

**中川議員** 都市公園にはトイレも数か所整備されているが、防犯カメラ等の防犯対策は取られているのか。また、夜間や冬季間の管理はどのようにするのか。

**村長** 防犯対策については、すべてのトイレに防犯カメラと非常用ブザー付点滅灯を設置し、利便性を図るため建物周辺に街灯を設置する予定である。トイレについては、原則24時間、冬季間も使えるような形にしたいと考えている。しかし、数があることで利用状況を見ながら全てを開けておく必要があるかどうか検討していきたい。

## 商業の活性化対策について

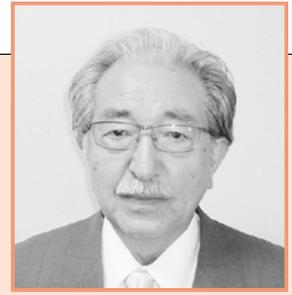
**中川議員** 城内地区の土地

整備がほぼ完成に近づいてきたが、新規に起業、もしくは事業再建する方々に、村として助成や後押しが必要と思われるが推進策はあるか。

**村長** 村としても重要な課題と認識している。十分ではないかもしれないが、新規事業に対する補助も行っている。商工会に対してもまちなか再生事業等への補助を通じて商店街の賑わいを創出するための主体的な取り組みを支援しているところである。今後も村民が集い、賑わい再生につながる効果的な事業展開ができるように商工会と連携を密にしながら取り組んで行く。

**中川議員** テナントエリア「リメンバーホープビレッジねまぐる」の活用策は。

**村長** オープン以来、ベアレンフェスタやプチ夜市、ライトアップニッポンなど、大きなイベントの中心施設として使用されている。テナント出店に繋げるため、商工会への補助を行うなど、集客環境の整備に努めているところであり、今後も取組に支援していく。



宇部 武典 議員

## 住宅リフォーム事業の

## グレードアップは

村長 現段階では現状制度で対応して行く

**宇部議員** 野田村の住宅リ

フォーム事業は今年で10年目となる。この間、2008年度には対象件数12件、対象経費2,300万円余り、交付金額100万円余りと21倍以上の経済効果を生むなど、優れた政策の一つになってきた。しかし、近年の実績は2014年3件、2015年5件など政策のグレードアップが求められている感じだが、どのように受けとめているか。

**村長** この10年間の実績は、件数で122件、対象経費で1億6,900万円、交付額で1,030万円となっている。バス、トイレなど下水道エリアの拡大に関係したものが多く、村内商工

業の経済循環に一定の効果を果たしている。現段階では現状の制度のままでも対応していきたい。

### 被災者支援

**宇部議員** 国からの被災者支援総合交付金を使った入居者交流会や入居者相談会はどのように開催されているか。

**村長** 新町地区での支援事業は、委託先である野田村社会福祉協議会が、村や包括支援センターなどと連携して6月・7月に住民交流会やいきいきサロンを開催した。

**宇部議員** 今年の12月末までとなっている被災者の医療費等の一部負担免除について、来年も継続して実施することを早く表明して、被災者を安心させるよう強く求めていただきたい。

**村長** 県は今後の継続実施について検討中とのことなので、その判断を待ちたい。

### 野田中グラウンド復旧

**宇部議員** 野田中グラウンドの早期復旧返還を新年度当初に間に合わせるよう強烈に県に訴えることが必要だと思いが県の対応はどうか。

**村長** 県の予定としては、年内に仮設の建物や舗装などの上物が撤去された後、凍結を避けた来春にグラウンドの復旧に入りたいとのことだ。早期復旧については今後も強く要望したい。

### 村道寺前秋田線

**宇部議員** 新町から歩いて街に出る際の最短距離道路として重宝されている村道寺前秋田線の改良が望まれているがどのように把握しているか。

**村長** 歩道が整備された新町通り線、高校通り線をご利用いただきたい。抜本的な整備改良計画はないが、凸凹になっているので砂利敷等々は検討したいと思っている。

### 災害公営住宅

**宇部議員** 災害公営住宅の

買受価格はどの程度になる見込みか。また、買い受ける際、被災者生活再建支援制度の加算支援金は当然支給されるべきものだが、そのことを早くはつきりさせてほしいという被災者の思いにどうかたえるか。

**村長** それぞれの住宅の建築費により異なるが、城内高台団地のC1タイプ（22.6坪）の場合6年目の買い取り価格は約1,870万円と試算している。土地は不動産鑑定評価額による。今後とも、加算支援金の申請期間再延長を強く要望し続けていきたい。

### 待機児童問題

**宇部議員** 保育士不足などに対応するためと称して、児童福祉施設最低基準等が改訂され、認可保育所の人員配置基準が大幅に緩和されたが、野田村としてこれを適用するのか。

**村長** 保育士に変わり幼稚園教諭もしくは小学校教諭または養護教諭を配置することが可能となったが、今のところ、村内の保育所では、この特例を適用する予定はないとのことだ。

**宇部議員** 村内保育所認可定員数合計130人、5歳までの人口が140人だとすれば、現在待機児童なしとのことだが、それはどのような事情によるものか。今後の方向性を見通しは。

**村長** 5歳までの人口は207人、うち村内保育所に入っている児童が145人となっている。今後は、出生数の推移を見ながら、認可定員数の適正化を図っていききたい。

**宇部議員** 保育士に欠員があるとなれば、村独自の支援も含め早期に解消しなければならぬ課題だと思いが実態と対応は。

**村長** 現在村内保育所で欠員はないと聞いている。欠

員が生じた場合は、保育会と連携しながら早期解消に向けた対応をする考えだ。

## 消防団待遇改善

**宇部議員** 一昨年6月定例会一般質問で、消防庁から都道府県知事への通知では、「交付税単価より報酬手当の条例単価が低い市町村は、積極的に単価を引き上げてください」となっていることを示して、野田村でも団員の報酬や出勤手当が交付税単価よりも大幅に低い状況を改善することが望ましいのではと提起した。対する村長の答弁は、本村の場合管内と比較して低額の部分もあり、一部見直しの必要性は感じているということだった。現状と今後の対応を伺う。

**村長** 地域では、歴史的なものや近隣市町村とのバランス等を考えて今日に至っているものと思う。その後で消防団と協議を重ねた結

果、団旗、出勤手当、防火衣等の要望が強く、計画的に処遇改善や備品購入をしている。現段階では協議した結果で進めて行きたい。



防災訓練の様子



台風通過翌日の本町

## 台風10号被害と対応

**宇部議員** 災害対策本部としての対応と被害状況はどのようなであったか。

**村長** 8月30日には災害対策本部を設置し、防災計画に基づき、避難準備情報の発令とともに、避難所9か所を開設、その後、避難勧告、避難指示を発令した。

養殖施設や給水施設、道路など被害は甚大(9月12日現在被害額概算20億円)であったが、人命にかかわる被害はなく安堵している。

**宇部議員** 今後の対応策は。

**村長** 災害救助法の適用を受けて必要な予算を専決処分し対応している。今後も国の動向を見ながら迅速に対応していく。

**宇部議員** 河川の上流部など多くの地点で降雨量の計測が必要だ。村内全域に出した避難指示に反応した避難者数は130世帯、

258人とのことだが村の世帯数・人口比では8%と6%だ。自分のいる場所が危険だと判断した人が少なかったということになる。どこにどのような危険が及ぶのか水害対応ハザードマップを作って学習することが大事だ。愛宕町の道路冠水被害に関しては、区画整理事業の中で解消できることだったが、以前と変わらなかったとの声もある。

**村長** 村内雨量計測地点は野田橋、野田漁港、和野平の3か所ある。ハザードマップの整備については、今後検討していきたい。愛宕町の道路冠水に関しては、大潮に満潮が重なったのに水が家に入らなかったと評価している方もあったが、十分な対応というものは厳しいと思う。

※その他に「TPP協定の国会承認に反対する問題」についての質問・答弁がありました。紙面の都合でかつあいします。



米田 徳一郎 議員

# 地域要望に対する対応状況は

## 村長 予算状況等を考慮し、必要に応じて要望・検討して行く

**米田議員** 県道野田長内線の迂回路整備について、災害時に多くの方々が利用している中沢地区の集落道を迂回路として整備すべきと思うが、その考えは。また、中沢地区、久喜地区が孤立集落になりかねない。久慈市と協議し県に対し重ねて要望すべきでは。

**村長** 中沢地区の集落道を迂回路として整備することは土地の形状などの理由から困難、地域住民の通行に支障が生じないよう計画的な維持補修や待避スペースの設置で対応する。また、災害時の迂回路整備については通行者にとって不便な状況にあることから県に対し災害に強い道路の整備と補助事業の導入などを引き続き強く要望している。

**米田議員** 私道整備については関係集落から毎年繰り返し要望されている。そこで村道認定要望を受けている箇所数と、繰り返し要望されている私道の現地調査、地権者との協議、事業費試算など前向きに取り組むべきでは。

**村長** 要望を受けている箇所数は3カ所、これまでも繰り返し要望の有った箇所については、現地の状況などについて調査を行い、認定要件について勘案しているところであり、今後においても必要に応じ検討していきたい。

**米田議員** 側溝整備について、繰り返し要望されている代表的なもので地域としては一日でも早い整備を望

んでいるが、村の姿勢、動きが見えないと言う。そこで、要望がどの位あり、管理者との協議は、順位は何番かを示すべきでは。

**村長** 各要望箇所とも現地の状況が様々で「道路維持で対応できるもの」、補助事業の導入により計画的に行うことで効果を発揮できるところ」など地域事情が様々であり今後においても地域の要望を踏まえ、緊急度や予算状況を考慮しながら対応したい。

## 都市計画区域の見直し

**米田議員** 今回の災害復旧事業で一部見直しをして区画整理が行われている

が、従来の街並み再生や一種、二種の住居地域、近隣商業地域の指定が意味をなさない今、用途地域の見直し、廃止などを検討し、大型小売店舗などの進出を進め、街並み再生を図るべきでは。

**村長** 用途地域指定により制限される建物は、第一種住居地域で3000㎡を越える店舗、事務所など、第二種で10000㎡を越える店舗などであり、用途地域内の土地利用の実態から鑑み、現段階で廃止や早急な見直しなどの必要性はないと考える。企業などの進出は、村の雇用を含めた経済活動の活性化を後押しするもので、希望する企業などの情報把握に努めると共に適正な土地利用に引き続き取り組んでいきたい。

## 松くい虫対策

**米田議員** 松食い虫被害をどの様に捉え、その対策について検討されているか、また、バイオマス発電の燃

料である未利用材やバークに寄生し飛散する恐れがないか。

**村長** 松食い虫の侵入が確認された場合は、防除や伐倒駆除などを徹底し、再発防止をしていくことが重要。被害拡大の防止策としては、被害木を未被害地域に移動することは森林病害虫等防除法により禁止されている。また、発電所側の取り組みとして、納入地域を厳格に確認することやバーク材等にあつては、荷受後破砕し、即日燃焼するなどの対策を考えていると伺っている。

## 災害支援 道路建設

**米田議員** 増田県政の県都盛岡まで90分構想が計画されてから久しいわけですが、実現には、横軸の九戸インター、久慈間の支援道路「災害時の命の道」として自動車専用道路新設を要望すべきでは。

**村長** 当地域においても災害時などにおける確実な緊

急輸送路の確保や、経済活動を活性化させる為の道路ネットワークの構築に向けた取り組みは非常に重要であると認識している。地域においても新たな支援助路の整備について、関係市町村と連携を図りながら検討したい。

## 台風被害

**米田議員** 安家川流域で道路の崩壊や漁港機能の閉塞、サケ・マスふ化場の被害が甚大で採卵や稚魚の飼育が出来ない状態となり漁業振興への影響が懸念されます。そこで、次の点について伺う。

- 一 被災状況と被害総額は
- 二 復旧対策と支援策は

**村長** 一点目「被災状況と被害総額」について9月9日時点で道路被害14路線、漁港被害2カ所水道施設被害2カ所、林道被害5路線で今後更に増えるものと考ええる。被害額については災害査定に向け調査中ですが約20億円を超えるものと考え



台風通過後の下安家漁港の様子

える。  
二点目「復旧対策と支援策」については、生活に支障のある水道施設について応急的な対策を行っているが本格復旧は災害査定を受けてから行う。支援策については、被害が甚大であり激甚災害の指定要請を行っている。

## ◎議会の動き (6月～10月)◎

### 《6月》

- 6月19日 出稼ぎ者打ち合わせ会・・・議長  
野田はまなす会総会・交流会  
(東京都・東海大学校友会館)・・・全議員
- 6月24日 第40回久慈地区支部ポンプ操法競技会に係る  
出場者激励会(えぼし荘)・・・議長
- 6月28日 平成28年度国道281号整備促進期成同盟会総  
会及び岩手県への要望会  
(エスポワールいわて・県庁)・・・議長
- 6月30日 平成28年度野田村体育協会評議会  
(総合センター)・・・副議長

### 《7月》

- 7月 3日 第40回久慈地区支部操法競技会結果報告会  
(えぼし荘)・・・議長
- 7月 4日 平成28年度久慈工業高校を守り育てる会総会  
(生涯学習センター)・・・議長
- 7月11日 平成28年度三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会総会  
(浄土ヶ浜パークホテル・三陸国道事務所)・・・議長
- 7月13日 岩手県町村議会議長会 第1回政務調査会研修会  
(大槌町・三陸花ホテルはまぎく)・・・議長
- 7月25日 北部地区町村議会議員研修会  
(洋野町文化会館ほか)・・・議長
- 7月26・27日 岩手県町村議会夏季大学講座  
(岩手県自治会館)・・・岩岡議員、山田議員、中川議員
- 7月29日 野田村津波記念碑建立実行委員会設立総会  
(学習センター)・・・議長

### 《8月》

- 8月 3日 米田駅新設工事安全祈願祭(現地)  
岩銀・野田村地方創生の連携に関する協定締結  
に係る調印式(役場)・・・議長
- 8月 8日 漁港検診(野田漁港)・・・全議員
- 8月 9日 久慈地区市町村議会連絡協議会定期総会  
(久慈市役所)・・・議長

### 《8月》

- 8月10日 野田分署落成式(現地)・・・全議員  
県への要望会(役場)・・・全議員
- 8月15日 野田村戦没者慰霊祭(海蔵院)・・・全議員
- 8月28日 米田部落会二百十日(米田地区集落センター)  
・・・議長

### 《9月》

- 9月 8日 結の里 敬老会(老人ホーム 結の里)  
・・・議長、古館議員、中川議員
- 9月15日 野田村敬老会(えぼし荘)・・・全議員
- 9月21日 ことぶき荘 長寿を祝う会・・・議長
- 9月22日 九戸歴史民俗の会 10周年記念講演会  
(久慈グランドホテル)・・・議長
- 9月23日 県町村議会議長会理事会・臨時総会  
(岩手県自治会館)・・・議長
- 9月26日 岩手県選出国議員への要望活動(東京都)・・・議長
- 9月27日 シルバースポーツ大会(体育館)・・・全議員

### 《10月》

- 10月2～5日 国民体育大会軟式野球競技  
(ライジングサンスタジアム)・・・議長



- 10月 9日 涼海の丘ワイナリー開所式(現地)・・・全議員
- 10月22日 野田小学校学習発表会(野田小体育館)・・・全議員
- 10月29日 野田中学校文化祭(野田中体育館)・・・全議員

# 8・10月臨時会 & 9月定例会採決一覧表

○賛成 ×反対  
 ※議長は採決に参加しない

会議	議案番号	議案内容	宇部 武典	岩岡 吉比古	古館 幹男	八幡 文耕	山田 陽子	内野 澤進	米田 徳一郎	米田 忠一	小野 寺光男	中川 大和	廣内 和之	貳又 正人	結果
臨時会 第5回	議案第1号	玉川漁港施設機能強化（北沖防波堤）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	承認第2号	新町地区コミュニティセンターの指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第5回 定例会	報告第1号	株式会社のだむらの経営状況に関する書類の提出について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第2号	平成27年度決算に基づく野田村財政健全化判断及び資金不足比率の報告について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	承認第1号	平成28年度野田村一般会計補正予算（第2号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	認定第1号	平成27年度野田村一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	平成27年度野田村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号	平成27年度野田村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第4号	平成27年度野田村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第5号	平成27年度野田村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第6号	平成27年度野田村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第7号	平成27年度野田村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第8号	平成27年度野田村国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第1号	平成28年度野田村一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成28年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成28年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	平成28年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	村道路線の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第6号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
第6回 臨時会	議案第1号	平成28年度野田村一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成28年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成28年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	城内地区津波復興土地区画整理事業（4号）工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

## ○国会議員への要望提出○

9月26日、北部地区町村議会議長会は衆・参議院会館内の岩手県選出国会議員（北部地区を選挙区とする議員）事務所を訪れました。各訪問先では北部地区町村が抱えるインフラ整備や農林水産業振興に関する喫緊の問題などに関する要望書を提出し懇談しました。



（左）平野達男参議院議員（中）鈴木俊一衆議院議員（右）木戸口英司衆議院議員 各事務所での様子

## 他地域の意見を参考に ～岩手県町村議会議員シンポジウム～

28年度の岩手県町村議会議員シンポジウムが岩手県自治会館で開催され、野田村議会から八幡文耕議員、山田陽子議員、内野澤進議員の3名が参加しました。今回のテーマは「議員定数・報酬」についてであり、午前中に講師の話聞いた後、午後からは県内4地区の代表議員がテーマについて意見を述べ、参加者で議論を深めました。



会場の様子(午前の講演会)



各地域の代表者が意見を発します



様々な意見に熱心に耳を傾けました

**あ  
と  
が  
き**

秋も深まり朝夕はあの暑い夏が懐かしく思えるようになりました。

私事ですが、古希近くなり体のあちこちが悲鳴をあげるようになりました。

何事もなく新しい年を迎えたいと願うこの頃です。(古)

## 台風10号被害の状況を確認 ～産業常任委員会視察～

産業常任委員会(八幡文耕委員長)は、10月19日(水)臨時議会終了後、村内の台風被害の状況を視察しました。



ふ化場職員から被害の説明を受ける



現地(根井地区)を直接歩いて確認しました



根井地区(左)と沢山地区(右)の被害の様子

